

# 兵庫県感染症発生動向調査週報

平成20年第6週(2月4日~2月10日)

平成20年2月14日 兵庫県感染症情報センター - 発行

この週報は感染症法及びその関連法規に基づく感染症発生動向調査の県内状況を速報するものです。患者数は確定した値ではありませんのでご了承ください。感染症発生動向調査は全数把握対象疾病にあっては県(国)内の全医療機関、定点把握対象疾病にあっては指定の医療機関(定点)からの保健所(健康福祉事務所)への報告に基づいています。

2008年1月1日から麻疹と風疹が、それぞれ全数把握疾患に変更されました。

<http://idsc.nih.go.jp/disease/measles/index.html> (2012年麻疹排除に向けて)

厚生労働省から「今冬のインフルエンザ総合対策について」が発表されています。

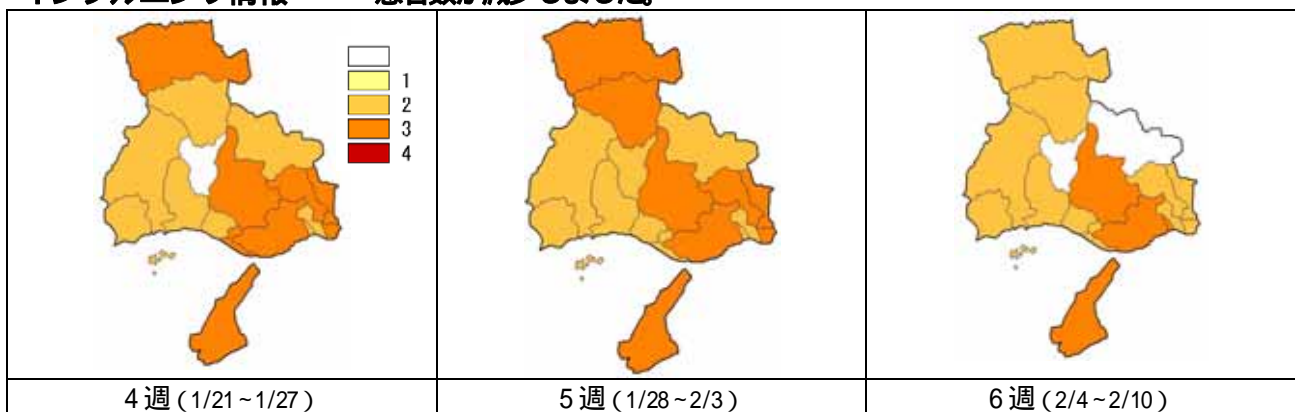
標語 <ひろげるなインフルエンザ ひろげよう咳エチケット>

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/index.html> (厚生労働省)

<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kanja/infreport/report.html> (インフルエンザ様疾患発生報告)

<http://idsc.nih.go.jp/disease/influenza/inf-keiho/index.html> (流行レベルマップ)

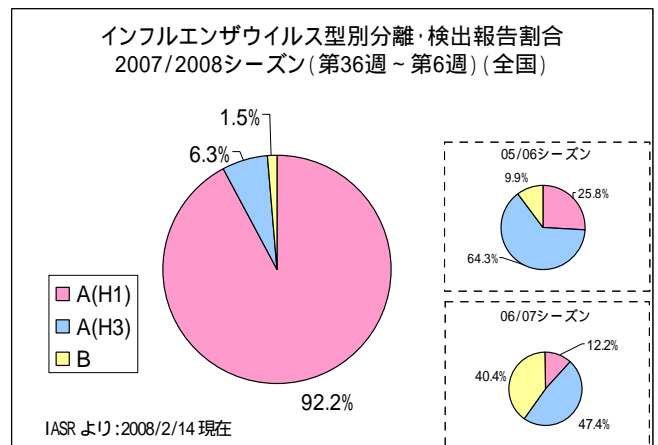
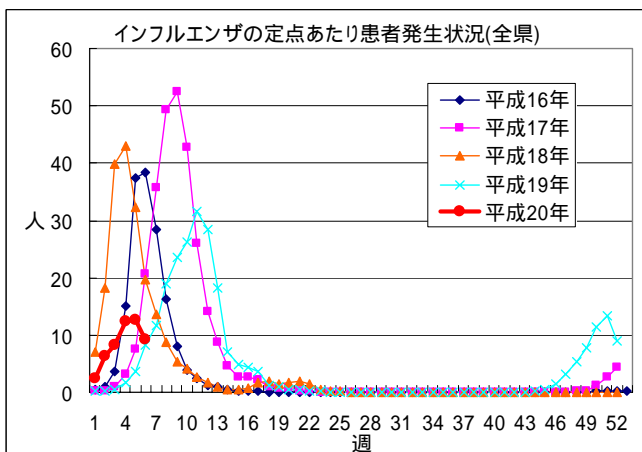
## インフルエンザ情報 患者数が減少しました。



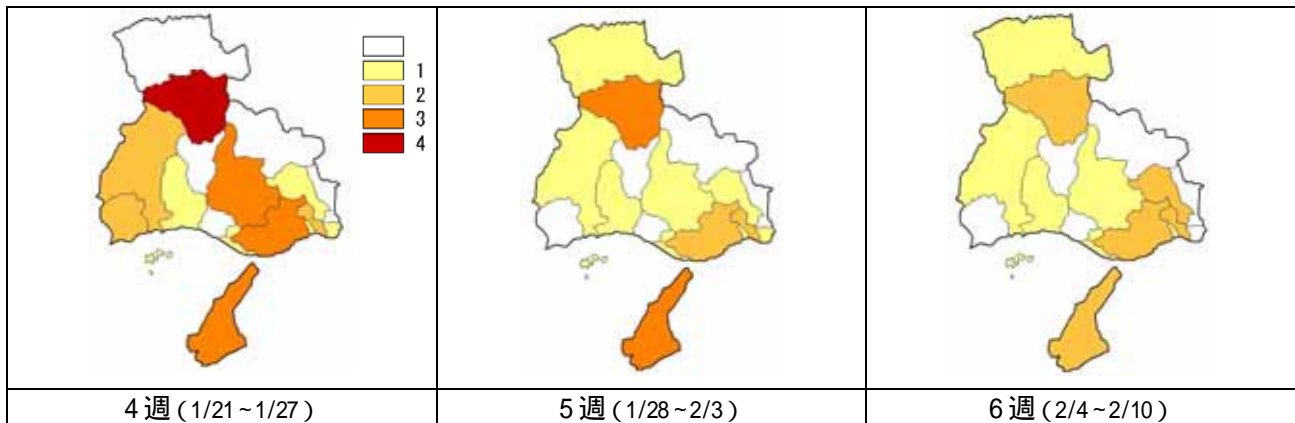
全国のインフルエンザの定点あたり患者数は今週減少し、14.98人(先週17.62人)となりました。25府県で警報レベル、46都府県(兵庫県含む)で注意報レベルとなっています(第5週現在)。現在までのところ、全国で分離されているインフルエンザウイルスの約9割をA/H1亜型(Aソ連型)が占めています。(第36週~6週)

今週県内の定点からは患者数1,826人(先週2,515人) 定点あたり患者数9.18人(同12.64人)の報告がありました。第1週以降、増加が続いていましたが、今週減少に転じました。現在までのところ、Aソ連型以外の型が増加しているという情報はありませんが、A香港型やB型が増加してくると新たな流行となるので今後も注意が必要です。県内第5週の学級閉鎖等の数は65施設(去年同期18施設) 欠席者数589人(同228人)となっています。

インフルエンザ予防のために、帰宅時の手洗い・うがい、適度な湿度の保持、十分な睡眠やバランスのとれた食事、混雑する場所への外出は控える、外出時のマスク着用などを心がけましょう。



## 感染性胃腸炎 流行は平年並みです。



感染性胃腸炎の定点あたり患者数は2週連続で減少しましたが、例年3月頃までは患者数の多い状態が続きます。予防の基本は手洗いの励行で、患者の吐物や便を処理する場合は使い捨て手袋とマスクを着用する、また牡蠣などの二枚貝は十分に加熱調理するなど注意が必要です。

厚生労働省のホームページにて「**ノロウイルスに関するQ&A**」が掲載されています。

<http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/kanren/yobou/dl/040204-1.pdf> (厚生労働省)

## その他の定点把握感染症等の概況

**水痘**の定点あたり患者数は今週増加しました。冬から春にかけて流行する感染症で、伝染力は麻しんに次いで強く、家族内感染発症率は90%以上といわれ、流行期を迎えている現在、注意が必要です。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**の定点あたり患者数は3週連続で増加しました。冬期に流行がみられ、学童期の小児に多い感染症です。**RSウイルス感染症**も冬季に流行をみせる感染症ですが、今週減少しました。

**百日咳**の報告が4名あり、うち1名が20歳以上でした。成人の百日咳は、咳が長く続くものの症状が比較的軽微なため見逃されやすく、周囲へ感染を拡大してしまうこともあり注意が必要です。

## 定点あたり患者数の上位10位の疾病

	疾病名	定点あたり患者数	先週	先週からの増減		疾病名	定点あたり患者数	先週	先週からの増減
1位	インフルエンザ	9.18	12.64	-3.46	6位	突発性発しん	0.53	0.50	+0.03
2位	感染性胃腸炎	8.19	8.59	-0.40	7位	流行性角結膜炎	0.43	0.43	±0.00
3位	水痘	1.74	1.29	+0.45	8位	流行性耳下腺炎	0.36	0.33	+0.03
4位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.45	1.21	+0.24	9位	咽頭結膜熱	0.17	0.19	-0.02
5位	RSウイルス感染症	0.53	0.63	-0.10	10位	無菌性髄膜炎	0.10	0.00	+0.10

## 全数把握感染症

1類感染症：報告はありません。

2類感染症：**結核 9名**（尼崎市3名、姫路市2名、西宮市1名、伊丹健康福祉事務所管内3名）

3類感染症：**腸管出血性大腸菌感染症 1名**（神戸市：0157 VT2+）

4類感染症：報告はありません。

5類感染症：**アメーバ赤痢 2名**（宝塚健康福祉事務所管内、加古川健康福祉事務所管内）

**風疹 1名**（尼崎市・10歳/ワクチン接種歴無）

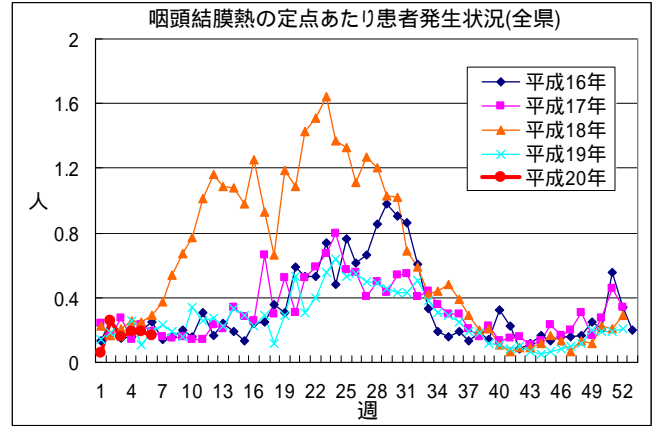
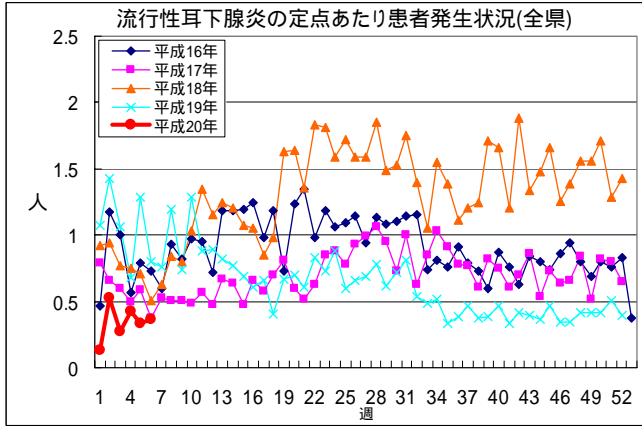
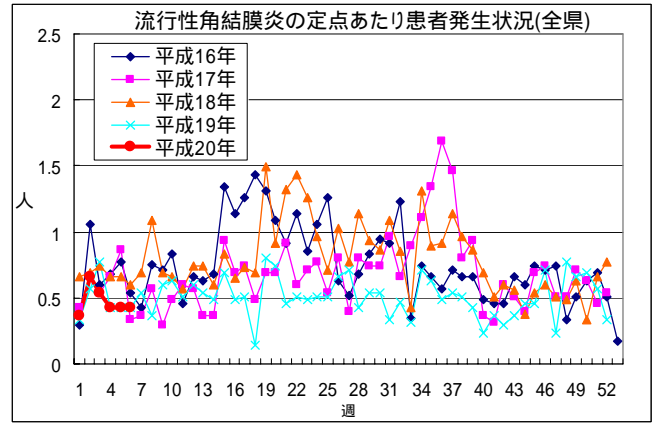
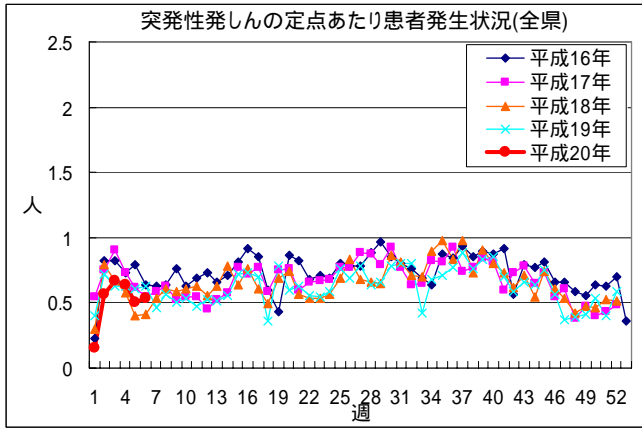
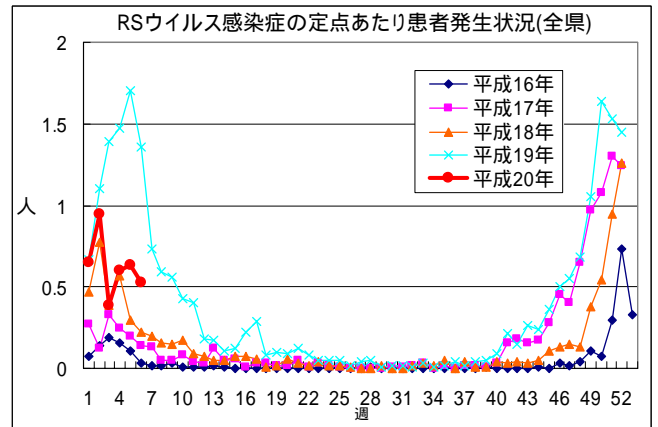
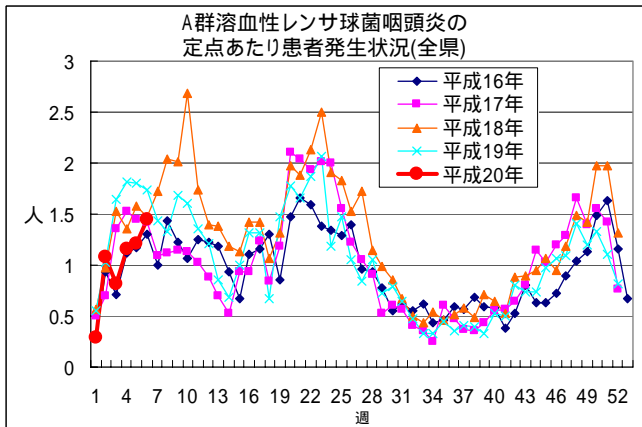
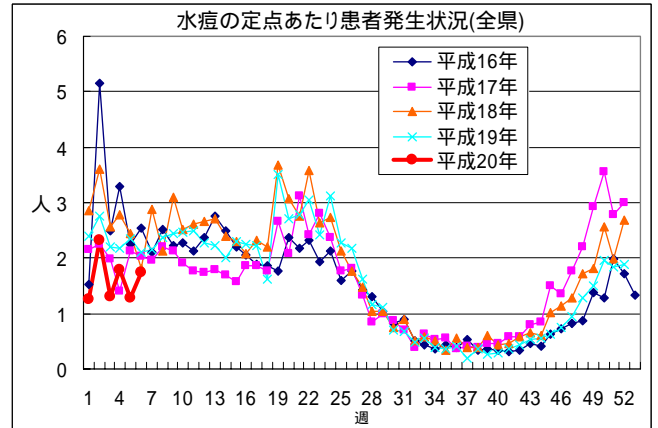
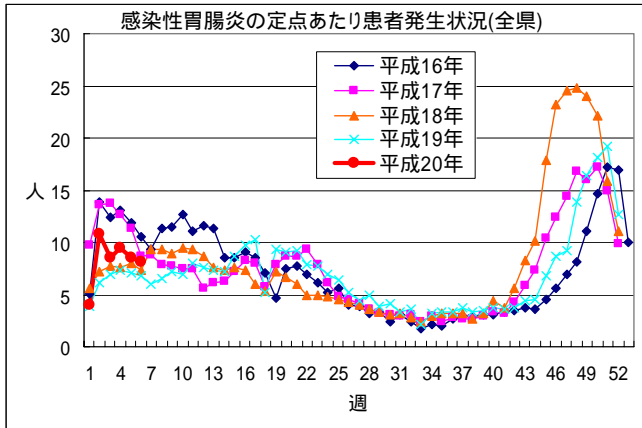
**麻疹 1名**（宝塚健康福祉事務所管内・6歳/ワクチン接種歴1回有（麻しん単抗原））

追加報告：**アメーバ赤痢 1名**（社健康福祉事務所管内；第5週）

**風疹 1名**（神戸市・11歳/ワクチン接種歴不明；第5週）

**麻疹 2名**（神戸市・15歳/ワクチン接種歴1回有/修飾麻しん；第5週、社健康福祉事務所管内：16歳/ワクチン接種歴無；第5週）

## 目で見る動向（県内）



この週報は兵庫県立健康環境科学研究所ホームページ <http://www.hyogo-iphes.jp/> にも掲載しています。

また、<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html> から国立感染症研究所感染症情報センターの週報(IDIR)がダウンロードできます。